



# 議 会 だ よ り

令和3年8月

No. 181

■発行／士幌町議会

■HPアドレス

<https://www.shihoro.jp/assembly/>

Q しほろ議会

検索

## Contents

- 6月定例会  
条例の改正、補正予算ほか……………2ページ
- 一般質問  
コロナワクチン接種事業について  
ほか2件……………3ページ
- 常任委員会の構成……………6ページ
- かけ橋「新型コロナウイルス発生を経験して」  
士幌町立国保病院 診療部長 竹下 和良さん……………8ページ

# 第2回定例議会開催 集団ワクチン接種(総研)はじまる

令和3年  
第2回  
定例会

# 押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例案を可決

第2回定例会が、6月4日から9日までの会期で開会。

4日は行政報告、教育行政報告、ほか4件の報告を行い、報告4件の同意等を行った。(6月5日～7日は議案調査のため休会)

8日は、議員3名が3件の一般質問を行った。条例案3件、令和3年度一般会計補正予算他1件、追加議案として工事請負契約の締結1件、意見書案4件を審議し、全ての議件を原案どおり可決し、閉会した。

## 条例の改正

【押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例案】

押印の見直しを実施し、町民の負担軽減及び行政サービスの効果的かつ効率的な提供に資するため、関係する条例について所要の改正を行うものである。

【土幌町税条例等の一部を改正する条例案】

地方税法等の改正に関し規定するため、条例を改正するものである。

【土幌町営住宅管理条例の一部を改正する条例案】

所得税法改正に伴い入居者の選考に係る規定を改正するため、条例を改正するものである。

## 意見書審査報告

各常任委員会に4件の意見書(案)が審査依頼され、本会議に提案し、原案のとおり決定され関係機関に送付した。

【総務文教常任委員会】

① 地方財政の充実・強化に関する意見書

② 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元

「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

【産業厚生常任委員会】

① 2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

② 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

## 会計補正予算

一般会計、ほか国民健康保険事業及び介護保険事業特別会計の補正予算を可決。

主な補正内容は次のとおり

▼ふるさと寄附PR用広告料 100万円

▼ふるさと納税サイトページ構築委託料 150万円

▼障がい者福祉電算システム改修保守委託料 146万円

▼ワクチン接種予約システム導入委託料 160万円

▼介護保険事業事務費繰出金 187万円

▼強い農業(つくり)事業補助金 300万円

▼子育て世帯生活支援特別給付金 550万円




▼畑作構造転換事業補助金 1億1669万円

## 第2回定例会で審議などをされた議件

報告	結果	賛・反
行政報告		賛・反
▼教育行政報告		
▼例月出納検査報告		
▼令和2年度土幌町一般会計繰越明許費繰越計算書について	了承	
▼株式会社ペリオールの経営状況の報告について	了承	
▼株式会社Cherersの経営状況の報告について	了承	
条例の改正	結果	賛・反
▼押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町税条例等の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町営住宅管理条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
一般議案	結果	賛・反
▼辺地総合整備計画の変更について	可決	全員賛成
▼工事請負契約の締結について	可決	全員賛成
令和3年度各会計補正予算	結果	
▼一般会計(第2号)	可決	全員賛成
▼介護保険事業特別会計(第1号)	可決	全員賛成
意見書	結果	賛・反
▼地方財政の充実・強化に関する意見書	可決	全員賛成
▼義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書	可決	全員賛成
▼2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	可決	全員賛成
▼林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	可決	全員賛成

# 一般質問に3名が登壇

## 町民の声を町政に・町政のここが聞きたい

- 中村 貢 議員  コロナワクチンの接種状況について
- 清水 秀雄 議員  デジタル関連法案について
- 伊藤 健蔵 議員  士幌町学校運営協議会の運営状況等の実績評価について

6月定例会では3人の議員が一般質問に登壇し、理事者の考えをただしました。内容を要約してお知らせします。全文については議会ホームページに掲載(9月上旬予定)します。

### 日曜日のワクチン接種を増やすべき

病院スタッフと協議して接種計画を立てる



【中村 貢 議員】

#### 質問

新型コロナウイルスの変異株の発生が十勝でも確認されており、町民の安全を守るためにも一日も早いワクチン接種が望まれる。現在までのワクチンの入荷状況及び、接種状況を伺う。

#### 小林町長答弁

ワクチン供給については、3回にわたり供給を受け、合計4485回、2242人分となり、65歳以上の高齢者2100人接種分のワクチンは確保されている。

予約状況は予約が開始されている75歳以上の対象者88

8人のうち、6月3日現在の予約者は792人、89.2%となっている。

接種状況は5月末現在65歳以上の高齢者の接種率は25.2%にとどまるが、これは先行接種の医療従事者が多いことと併せ、安全接種の観点からスタートは慎重にこの現場スタッフの意向を踏まえて実施したことによるもの。現在まで一日3時間、一日当たり60人の接種体制で対応している。現在は一日90人以上に接種枠を増やして対応している。

今後、効率的な予約システムを構築し、接種率の向上を図り、7月中に65歳以上の高齢者の接種を終了、10月中を目

#### 質問

途に接種を希望する全員の接種が終了できるように安全かつ迅速な接種につとめる。

一日90人に枠を増やすのは良いが、時間帯が平日で週2、3日、3時間。夜間は週1、2日、2時間。土日については1日当たり2時間。これでは64歳以下の現役で働いている人の中には厳しい人もいるので、日曜日の接種時間を増やすことが望ましい。

#### 小林町長答弁

10月中に全町民の接種を終える方向で計画を策定し、今後は夜間・土日の接種を増やしていきたい。宮西院長をはじめとする病院スタッフと協議をしながら接種計画を立てていきたい。



### 町民のためになるデジタル改革を

高齢者に配慮した利便性の共有について取り組む



【清水 秀雄 議員】

質問

衆議院で可決されたデジタル改革関連法案について、国と自治体の情報システムや集約の促進によって地方自治の施策の抑制やデジタル格差、マイナンバー制度との情報連携拡大による問題点が指摘されているが所見を伺う。

小林町長答弁

国と自治体の情報システム共有化、集約の促進に向けては、それぞれの自治体において令和7年度までに基幹系17業務システムについて、国の施策である標準仕様に準拠したシステムへ移行される。

デジタル格差については、高齢化が進む中において利便性が共有され、豊かな高齢社会推進に資する制度の視点を持って取り組む。

マイナンバー制度について

は、国は子育てや介護、被災者支援など31の手続きを、令和4年度までにオンライン化を目指しており、町としてもコロナ禍での新たな日常への対応を進めるべく、行政手続きのデジタル化に向け庁内横断的に検討する。

情報セキュリティ対策では、平成31年に策定した土幌町情報セキュリティポリシー基本方針にもとづき情報保護に努めているが、全国的な共通ルールの上では、より厳格な保護体制が必要との認識である。

質問

この法案で欠けているのは個人情報保護の観点であり、特に非識別加工情報が外部提供される恐れがある点だ。プライバシーに関わる情報を本人の知らぬ間に行政から民間へデータ提供されることに不安があるが所見を伺う。

亀野総務企画課長答弁

今回、国は官民や地域の枠を超えた情報の活用を推進し、行政手続きの利便性を高めるための個人情報の定義を統一し、自治体が持つ個人情報

も匿名加工することにより民間に提供できるようになるものだが、国の独立機構である個人情報保護委員会が監督権を持つことにより適切な監視、監督が期待される。また再識別行為の禁止も行政機関に対して課せられることから、個人の特定は難しいと考える。

質問

住民の多角的なニーズに

学校運営協議会の評価について

各学校で機能や役割が高まっている

えるには、デジタル手続きとともに、窓口での相談など対面サービスを拡充し、住民の選択肢を増やすことこそが重要ではないか。

小林町長答弁

デジタル化においては、特に課題となる高齢者への行政サービスがそろえられなければならないように配慮する。



【伊藤 健蔵 議員】

質問

土幌町学校運営協議会の運営状況等の実績評価について伺う。コミュニティー・スクールいわゆる学校運営協議会

これまでの活動内容や目標設定の成果について教育委員会としての評価を伺う。

土屋教育長答弁

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、様々な行事等が変更、中止を余儀なくされ、運営協議会でのご意見を学校運営について十分に生かすことができない状況であったが、各学校において、徐々にその機能や役割が高まっている。

学校運営協議会は学校、PTAと、地域住民の参画を得て、学校と地域が一体となつて特色のある学校づくりをすすめるための組織であることから、組織の活性化に向けて教育委員会としても支援を行っていく。

質問

平成30年度以降、4校が廃校となり、土幌小学校の通学地域が拡大された。児童受け入れにあたり、学校運営協議会で活動計画等に大きな変更や改善があったか伺う。

土屋教育長答弁

学校運営の大きな変化はな

く、過去の運営協議会の中で閉校した学校の取り組みの報告を受け、その内容については学校、運営協議会とも現在も引き継がれている。土幌小学校の各種運営に際しても、それらの配慮をすること併せて、地域選出のPTA役員の見解、要望等を踏まえながら、各種運営計画を土幌小学校としても立てている。

**質問**

令和3年度の土幌小学校の運営協議会委員は8人だが、小学校区域が拡大されているので、12人の枠があるが残り4人の枠を閉校地区に割当をして、より細かく意見集約し、学校運営について生かすことが大事ではないか。

**土屋教育長答弁**

今後、閉校した学校の区域の方もその枠として、選任するか学校長とも協議検討させていただきます。

**第2回臨時会**

2月16日

- ◎全会一致で可決
- 1. 令和2年度土幌町一般会計補正予算(第9号)
- ▼新型コロナワクチン接種体制確保事業
- ・需用費 1, 699千円
- ・委託料 2, 966千円
- ・備品購入費 4, 321千円

- ▼強い農業、つくり事業補助金
- 3, 000千円
- ▼地方創生臨時交付金負担金補助及び交付金
- 16, 087千円
- ▼道の駅しほろ温泉施設設備改修工事
- 5, 000千円
- ▼重機借上料
- 24, 500千円

**第3回臨時会**

3月22日

- ◎全会一致で可決
- 1. 令和2年度土幌町一般会計補正予算(第12号)
- ▼光ファイバー整備工事負担
- 266千円
- ▼愛のまち建設基金積立金
- 70, 000千円

- ▼健康管理システム改修委託料
- 1, 177千円
- ▼農業振興基金積立金(一般分)
- 50, 000千円
- ▼重機借上料
- 9, 980千円

**第4回臨時会**

5月10日

- ◎全会一致で可決
- 1. 専決処分
- ・令和2年度一般会計
- ・令和3年度一般会計
- ・令和2年度国保会計
- 2. 条例改正
- ・土幌町国民健康保険条例の一部を改正する条例案
- ・土幌町介護保険条例の一部を改正する条例案
- 3. 損害賠償額の決定及び和解について
- 4. 選任・報告・議案(議会)
- ・常任委員の選任及び議会運営委員の選任
- ・常任委員長及び議会運営委員長の互選結果報告
- ・議会広報特別委員会の設置について
- ・議会広報特別委員長及び副委員長の互選結果報告

議会だよりをあなたのスマホにお届け



マチイロ 導入しました

アプリをインストールし、簡単な個人設定を行うと使用開始になります。「お住まいの地域」で郵便番号などから「北海道士幌町」を登録すると、発行日に「議会だより」が届きます。



町議会議員の任期は、4年間と定められております。各常任委員会の所属は、改選期（選挙を行った時）から2年後に所属委員会の変更が可能となります。

今回、新たに総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会の構成委員及び委員長並びに副委員長が決まりましたのでお知らせいたします。

## 総務文教常任委員会

- 委員会所管事項
- 出納室、総務企画課、町民課、消防課の所管に関する事項
  - 教育委員会、選挙管理委員会、監査委員会、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に関する事項



● 委員会構成

- |      |             |
|------|-------------|
| 委員長  | 中村 貢（前列左）   |
| 副委員長 | 伊藤 健蔵（前列右）  |
| 委員   | 清水 秀雄（後列左2） |
| 〃    | 矢坂 賢哉（後列左）  |
| 〃    | 牧野 圭司（後列右2） |

※秋間紘一議長（後列右）は、全委員会に参加できる。

## 産業厚生常任委員会

- 委員会所管事項
- 産業振興課、建設課の所管に関する事項
  - 農業委員会の所管に関する事項
  - 保健福祉課、子ども課、国民健康保険病院及び特別養護老人ホームの所管に関する事項



● 委員会構成

- |      |             |
|------|-------------|
| 委員長  | 森本 真隆（前列左）  |
| 副委員長 | 曾我 弘美（前列右）  |
| 委員   | 大西 米明（後列中）  |
| 〃    | 河口 和吉（後列右2） |
| 〃    | 大野 明（後列左）   |
| 〃    | 加藤 宏一（後列左2） |

# 常任委員会等の構成

## 議会運営委員会

- 委員会の調査等事項
- 議会の運営に関する事項
- 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- 議長の諮問に関する事項



### ● 委員会構成

委員長	清水 秀雄（前列左）
副委員長	伊藤 健蔵（前列右）
委員	中村 貢（後列右）
〃	森本 真隆（後列左）
〃	加藤 宏一（後列中）

## 広報特別委員会

- 設置の目的
- 土幌町議会の活動実態を公正にお知らせし、町民による自治行政の推進を図るため、定期的に町議会広報誌を発行する。
- 発行の回数 年4回発行（2月、5月、8月、11月）



### ● 委員会構成

委員長	河口 和吉（前列左）
副委員長	矢坂 賢哉（前列右）
委員	大野 明（後列左）
〃	牧野 圭司（後列中）
〃	加藤 宏一（後列右）

# 「新型コロナウイルスのクラスター発生を経験して」



土幌町立国保病院  
診療部長  
竹下 和良 さん

誰も思ってもいませんでした、「島だから大丈夫っしょ」。

土幌町の皆さん、初めまして。7月1日から国保病院で診療部長として勤務させていただくことになりました竹下和良と申します。私の中学時代の夢は「広大な土地で農業をすること」でしたから、土幌町はまさにイメージにぴったり、ただ農業こそできませんが。ちなみに小学生の時の夢は「総理大臣になること」と作文に書いていたようです(笑)。

さて、こちらへ異動するまでの5年と1ヶ月ですが、道南地方の離島の病院で院長を務めさせていただきました。交通の便がとっても悪いこと以外は自然環境に恵まれて、平和でのごかな暮らし良い島でした。そんな長閑な島を「コロナが襲つとは、

ホットニュース北海道などローカルニュースでご存じの方も多いと思いますが、昨年の11月に新型コロナウイルスのクラスターが発生しました。全国ニュースにも出たようでした。私の中学・高校時代の同級生から「竹下君、大丈夫かあ？生きてるか？」とLINEが届いたほどです。人口僅か2500人の島で公表56人の患者さんが発生しました。非公表の感染者を含めると70人以上に上ったようです。公式で島民45人に一人、実際に35人に一人の感染者が出たこととなります。皆さんの家族、親戚、ちょっと顔見知りの人、学生さんなら同級生、35人や45人ぐらいは思い浮かびませんか？想像してみてください

さい。皆さんの知り合いの中に一人や二人の感染者がいる状況です。島の病院に感染患者さんを入院させられる感染病棟はありません。ドクターヘリや公共交通機関が使えないという厳しいハンディキャップのもと、北海道庁と連絡をとりながら患者さんを本土の病院へと何とか無事に搬送することができました。コロナワクチンを担当している大臣がおっしゃっていましたが、まさに「目隠しをして綱渡りするのなオペレーション」ではありましたが、幸いにして、一人も亡くなった方はいません。

私がこちらへ赴任する前には、全体的に回復して島に戻ってこられました。小さな島で発生したクラスター、決して良いことではありませんが、油断もあつたと思います。ですが、とても素晴らしいと思つたことがあります。島の人々から感染者を責めるような言動や差別がなかったということ。都会では「コロナ感染者に対する偏見や差別だけでは

なく、治療にあたる医療従事者に対する差別も問題になっていきます、「あなたのお母さんは「コロナ病棟で看護師をしているから幼稚園を休んでください」か。もちろんそのような話は島の医療従事者に対して起きることはありませんでした。

病気は油断してはいけません！ワクチンで予防することも大事です。ですが、どんなに注意をしても病気にかかることは、誰にでも起きることです。かかった人が悪い訳ではありません。頭で分かっている差別したり、おやみに怖がってしまうことも人間の心理として理解できます。その人が自分の愛する家族だつたらどうでしょう？一歩踏み込まれるのではないのでしょうか。5年と1ヶ月、島で働いて学んだ大きなことの一つです。土幌町の皆さんにも伝えたくて文章にしました。そんな優しい気持ちに寄り添えるような医療を目指して努力していきたいと思つています。これからどうぞよろしくお願ひします。

誰も思ってもいませんでした、「島だから大丈夫っしょ」。

私がこちらへ赴任する前には、全体的に回復して島に戻ってこられました。小さな島で発生したクラスター、決して良いことではありませんが、油断もあつたと思います。ですが、とても素晴らしいと思つたことがあります。島の人々から感染者を責めるような言動や差別がなかったということ。都会では「コロナ感染者に対する偏見や差別だけでは

なく、治療にあたる医療従事者に対する差別も問題になっていきます、「あなたのお母さんは「コロナ病棟で看護師をしているから幼稚園を休んでください」か。もちろんそのような話は島の医療従事者に対して起きることはありませんでした。